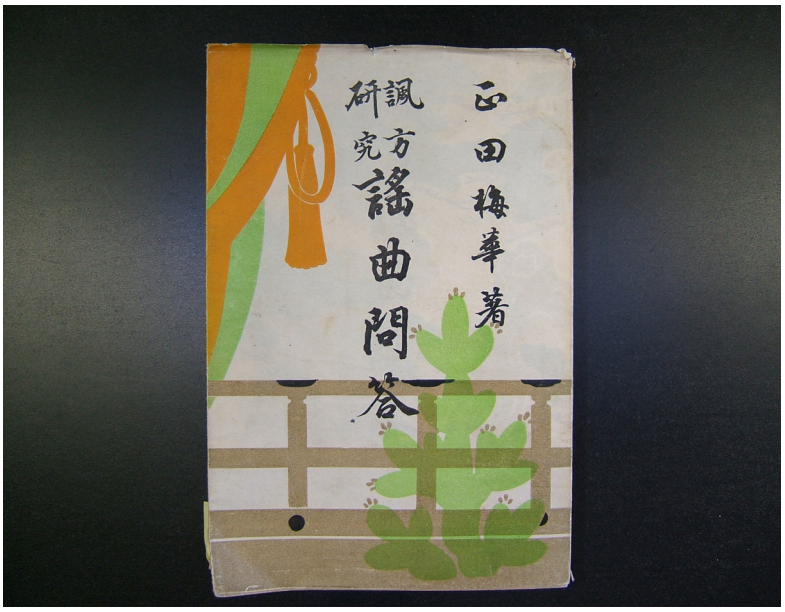
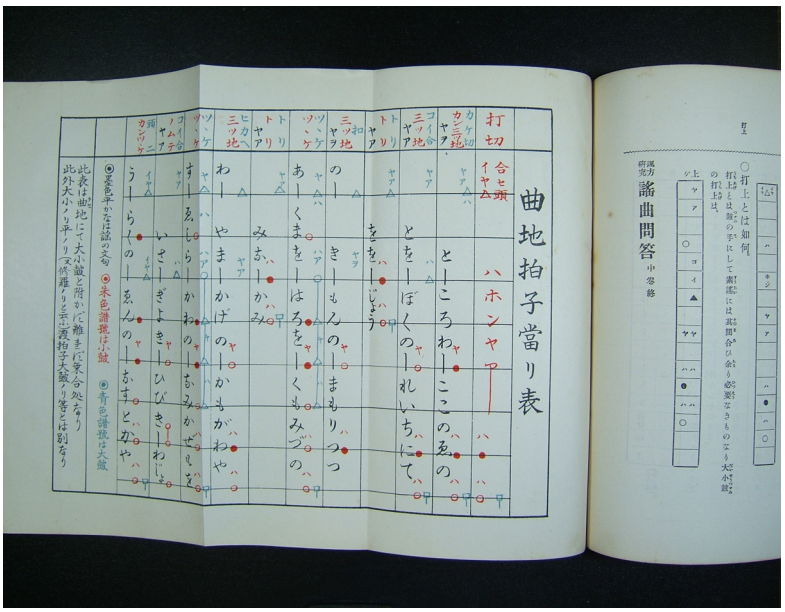
正田章次郎　『謡方研究　謡曲問答』

初心者のために、謡の諸知識、技術を述べる書。拍子の説明に八頁を費やす。本文では八拍子の枠を示すのに、升目を十六個縦に並べ、適当な位置に仮名や楽器の粒をおく（写真下、右寄）。升目一つの中央が当たりの位置を示すのは『八拍子』（9頁）にも似た表記法である。しかし、この表記法は写真下左寄の折り込み附録「地拍子当り表」とは対照的である。附録の方は、東北のクセを割り付けているが、これは、八拍子の拍が当たるのは横線の上であって升目の中央ではない。両者を合わせ見る読者の混乱が想像される。





標題　内題…**謡方研究　謡曲問答**
標題紙…**謡方研究　謡曲問答**
奥　附…**謡曲問答**
その他…**謡方研究　謡曲問答（目次・巻末・序・表紙・背）**

著者　奥　附…**正田章次郎**
その他の場所…**梅華仙史（序・巻頭）、正田梅華（背）**

出版　版　次…**第一版**
出版地…**東京**
出版社…**富田文陽堂**
出版年…**大正２（1913）**
その他の場所…―

形態　冊　数…**一冊**　頁　数…**三一三頁**
寸　法…**22×15（cm）**

状態　写本版本の別…**版本**　現物複写の別…**現物**

備考　**正田隆哉。**